

小学生に自衛隊の魅力を伝える 大瀧小学校キャリア教育に参加



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）高田地域事務所（所長 2陸尉 古川敏廣）は、2月22日（月）上越市立大瀧（おおぶけ）小学校（上越市頸城（くびき）区）において、6学年25名の児童に対し職業講話を実施しました。これは、同校の実施するキャリア教育の一環で、様々な職種から講師を招き児童の職業に対する知識、興味を深めることを目的に行われています。今回、同校から依頼を受け、所長と頸城区を担当する広報官の青木1海曹が講師として参加しました。

当初、所長による自衛隊の各種任務の概要と、国内だけでなく海外でも活躍する様々な自衛官像の紹介を行い、災害派遣等所長自身も経験した任務のいくつかを例に挙げて分かり易く説明しました。子供たちは初めて聞く自衛官のエピソードの数々に興味津々で「自衛隊に入ったら最初にどんなことを習いますか」「外国に行くときはその国の言葉を勉強するのですか」などの様々な質問がありました。

続いて、青木1海曹から海上自衛隊の紹介とともに、伝統的な通信手段である手旗信号の体験コーナーを設け、子供たちは英数字の信号が現在も世界各国で通じる信号であることに驚き、一覧表を見ながら自分の名前を表現してみるなどして楽しんでいました。



講話終了後、参加した児童から「自衛隊の人は世界中で活躍しているのがわかった。格好良かった」といった声の他、「将来自衛隊に入りたいと思っています」など、子供たちの自衛隊に対する関心の高まりを感じる有意義な講話となりました。

新潟地本は、今後も各学校の職業講話等に積極的に参加し、子供たちの自衛隊に対する知識や興味を深めるとともに、自衛隊の存在をより身近なものとするよう、PRしていきます。